

## うりずんの想い

私たちの住む地域のどこかで、  
重い障がいを抱えた子どもたちと  
24時間その子どもを介護している家族が暮らしています。  
うりずんは、子どもたちが友だちと楽しく遊び、  
両親は介護から離れひと休みできる場所です。  
障がいを持った子どもと家族が  
「普通」に暮らすことができる社会を目指しています。



## ご卒園・ご卒業おめでとう！

### はりゆん卒園式



もうすぐ1年生☆

春らしい暖かな令和6年3月15日、保護者や在園児、スタッフに見守られながら、児童発達支援はりゆん卒園式が行われました。今年度の卒園生は4名でした。かっこいいスーツや素敵なワンピースで参加してくれました。(1名は別日に行いました。)

卒園証書授与では、緊張した表情でしたが、しっかりと返事をして受け取る事ができ、立派に成長した姿を見せてくれました。スライドショーでは卒園制作の「おおきなかぶ」の劇遊び、共に過ごした日々を上映しました。劇遊びは役になりきり、楽しく演じてくれていました。たくさんの思い出がつまった日々の写真は、子どもたちの成長を感じられる素敵な写真ばかりでした。保護者の方々に見せることができ、子どもたちも嬉しそうでした。

卒園式後、在園児や日中一時のお兄さん、お姉さんから歌やお花のプレゼントがあり、とてもあたたかい気持ちがあふれる式となりました。(須藤裕美)

### わらゆん卒業おめでとう！



高校生最後の思い出 楽しかったね。

3月で、のぞわ特別支援学校高等部及び放課後等デイサービスわらゆんを卒業されました。

在学中はお友達とお出かけをしたり、お母様付き添いなしのお出かけを練習したり、たくさん経験の積み重ねでしたね。

これからまた新社会人になりますが、まだ経験されていないことや楽しいことを見つけて過ごしていけたら良いですね。

ご卒業おめでとうございます。

(浅野祥子)



能登や東北に、思いをはせながら  
災害対策には、人と人との関係性と  
普段の備えが大切だと、改めて感じました  
これからも、やるべき事をやっていきます

季節は春。風と光を感じて出かけましょう  
いつもご支援賜り、ありがとうございます  
令和6年4月



認定特定非営利活動法人うりずん  
理事長 高橋昭彦

### 初のきょうだいキャンプ 2024

令和6年2月に、北海道そらぶちキッズ  
キャンプへ、きょうだいさんと行ってきま  
した。今回の主役は、医療的ケア児のき  
ょうだい6名。スタッフは、保育士4名、  
看護師1名、医師1名でした。旭川空港  
から銀世界のキャンプ場へ。

翌日は、腰ほどの雪の中をラッセルして  
山を探検し、午後はバナナボートやスノ  
チューブで遊びました。夜は、ボランテ  
アさん手作りのちゃんちゃん焼きとジンギ  
スカンをいただきました。家族と離れたき  
ょうだいと私たちが、雪の中で思いっき  
りはじけた3日間でした。雪の上に大の字  
になって空を見上げた女の子が、「自然っ  
ていいな」。帰りは千歳空港でお土産と、男  
の子と“食後の”ラーメン。お世話にな  
ったそらぶちキッズキャンプの皆さん、関係  
者の皆さんに心から感謝いたします。



ラッセル！雪をかき分けて進む



スノーモービルにひかれてバナナボート遊び



雪が融けないので結晶がみえる！

### 紫綬褒章、おめでとうございます

令和5年秋、うりずんの設立時からの理事である柚崎通介（ゆざきみちすけ）さんが、神経科学の分野で優れた業績  
を挙げたことから、紫綬褒章を受章されました。

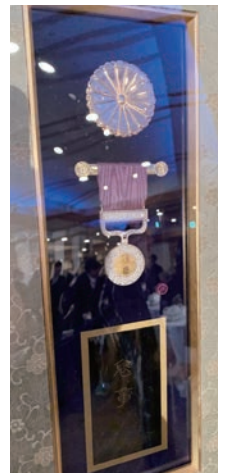
柚崎さんは、自治医大の同級生で慶應義塾大学医学部生理学の教授です。柚崎さんの研究室に通信を送っていたと  
ころ、東日本大震災の際に「何か必要なものはありませんか？」と声をかけていただき、寄付を呼び掛けて発電機と、  
修学旅行に行く医療的ケア児のため看護師派遣費用をいただきました。このアクションがきっかけ  
となって、支援団体「うりぼう」が発足し、うりずんのNPO法人化へとつながったのです。柚崎さん、



帝国ホテル東京で祝賀会。左から顧問税理士後藤さん、副理事長原澤さん、  
理事の吉岡さんと柚崎ご夫妻、秋山さんと高橋

おめでとうございます！

6年3月、帝国ホテル  
東京で行われた祝賀会に  
参加してきました。うり  
ずんからは、副理事長の  
原澤直人さん、理事の秋  
山をねさん、吉岡毅さん、  
吉川かおりさん、顧問税  
理士の後藤由紀さんと私  
が参加しました。



これが紫綬褒章です



# 令和 5 (2023) 年度研修報告

## ① 栃木県小児在宅医療体制構築事業

令和5年度も栃木県より小児在宅医療体制構築事業を受託し研修会等を行いました。

令和5年度で第7回目となる小児在宅医療実技講習会では自治医科大学小児科教授 小坂仁さんをはじめ、自治医科大学の先生方にご講義をいただき、4年ぶりとなる対面集合形式での開催となりました。

午前中は自治医科大学 医学部 教育研究棟の講堂にて講義を、午後はメディカルシミュレーションセンターにおいて、実際に気管カニューレの挿入方法や胃瘻や人工呼吸器の仕組み、ポジショニングの実際について実技を学ぶことができました。

さらに、実務研修会①では、講師に KIDS CE ADVISORY 代表 松井 晃さんをお迎えし、「在宅療養生活を始める子どもたちに必要な医療機器についての理解を深める」と題して、ご講義をいただきました。

実務研修会②では「医療的ケア児の避難先は～在宅医療における災害時等の支援体制について～」(講師:立正大学 社会福祉学部 白神晃子さん)と題して、オンラインで県内の医療圏域毎に分かれて自然災害を想定し、それぞれの市町で公開されているハザードマップを実際に活用しながらのグループワークも行いました。

本年度の栃木県小児在宅医療体制構築事業の実施報告は以下の通りです。

### 令和 5 (2023) 年度 栃木県小児在宅医療体制構築事業

- ・第 7 回小児在宅医療実技講習会 (2024/1/14 (日) 参加者 110 名)
- ・小児在宅医療実務研修会① (2023/7/31 (月) 参加者 75 名)
- ・小児在宅医療実務研修会② (2023/11/19 (日) 参加者 29 名)
- ・医師向け訪問診療同行研修 (随時受入れ 3 件)
- ・小児在宅医療に関わる医師等を対象とした相談支援事業(随時 15 件)
- ・小児在宅医療体制構築事業の充実を図るための検討会 (2023/7/18・2024/3/5)



2024.1.14 (日) 小児在宅医療実技講習会  
実技講習の様子  
(気管カニューレの挿入の実際)



2023.7.31 (月) 小児在宅医療実務研修会①  
KIDS CE ADVISORY  
代表 松井 晃 さんご講義の様子



訪問診療  
同行研修  
にて



Mr.K さんご講義の様子



呼吸器業者さんによるご講義の様子

## ② 喀痰吸引等研修指導看護師養成研修 (2023/6/28・2024/2/21)

## ③ 喀痰吸引等研修 (第三号研修) (2023/6/28.29・2024/2/21.22)

令和5年度は 31 名の介護職・保育士の方々と、12 名の看護師の方々に受講いただきました。

昨年から引き続いて、栃木県(栃木県保健福祉部障害福祉課)の「喀痰吸引研修助成事業」及び「介護職員喀痰吸引研修受講促進事業」により、福祉事業所対象の喀痰吸引等研修費の助成や指導看護師を派遣していただけることにより、以前より多くの方々に受講していただいております。

本研修の成り立ちや関係法規についてのご講義を檜山光治さん(元栃木県社会福祉士会会長)に、当事者の想いについては当法人をご利用いただいている Mr.K さんにお話をいただきました。医療的ケアが必要になる病気の理解については当法人高橋理事長が担当し、また、人工呼吸器や排痰補助装置については呼吸器業者さんにもご講義をいただき、人工呼吸器のタッチパネル操作や呼吸器回路の仕組みなど、実際に触れていただきました。受講者様からは「実際にこのケアを毎日行っているご家族をもっとねぎらいたいと思った」「家族の思いだけでなく、きょうだいさんにも目を向ける大切さを改めて感じた」「排痰補助装置を見て触る機会がなかったので、勉強になった」等のご感想をいただいております。  
(金澤知子)



2月はイベント盛りだくさん!

うりずん日記



うりずん鬼! 参上!



うまくできたよ! おいそ〜

年が明けてお正月気分も抜け、節分の準備が始まりました。丸めた紙で豆を作ったり、巨大なフランクフルトや串に刺さった巨大三色だんごなどを作ったり、鬼退治の準備が出来ました。いつ鬼が来るのかみんなドキドキです。節分の日、金棒を振り回して鬼がやってきました。顔をかくして目を合わせない子や、怖くてスタッフにしがみつ泣いてしまう子もいました。鬼との戦いが始まり、豆を投げたり巨大フランクフルトやだんごを振り回したり、全員で勇敢に戦い無事に鬼を追い払う事が出来ました。怖がって泣いていた子もみんな笑顔になりました。最後に鬼さんからありがたい説法があり、みんな静かに耳を傾けていました。

鬼は、自分の内にいる嫉妬、妬み、わがまま、怠慢など…それらに向き合い受け入れて乗り越えるのが本来の

節分。みんなの心の鬼もうりずんのみんなの笑顔で笑い飛ばして追い払う事が出来ました。

\*

2月14日はバレンタイン。かわいいバッグやチョコのお菓子を作りました。チョコを溶かしクッキーやマシュマロにコーティングし、きれいな色のチョコスプレーで飾り付けをしました。残ったチョコはみんなで味見をして、楽しみました。バレンタイン Week は毎日チョコの香りが漂って幸せな気分でした。

今年は暖冬でしたが雪が降りました。うりずんは日光に近いこともあり、宇都宮の市街地より雪が積もります。1月往ぬる2月逃げる3月去るといいます。お正月から3月まで行事が多くあっという間に過ぎていきました。

(若井田美智子)

うりずん・そらぶち きょうだいキャンプに行ってきました

2月10日～12日の3日間、北海道滝川市にあります「そらぶちキッズキャンプ」に、きょうだいさん6名とスタッフ6名で参加しました。

朝、家族と離れる時は少し不安な様子でしたが、飛行機に乗る頃にはワクワクに変わり、雪景色とそらぶちの大歓迎を受けると、はち切れんばかりの元気になりました。晴天に恵まれ、



屋内でのキャンプファイヤー

雪中探検や自然の斜面の滑り台、バナナポート、スノーバイクなど普段では味わえない大自然の中で雪遊びを満喫しました。また夜には、前日から作った氷のキャンドルでのキャンプファイヤーで仲間との絆が深まりました。この思い出は、きょうだいさん・スタッフ共にかげがえのないものとなりました。今後もうちゃりばちょ〜で〜会(※)では、きょうだいさんのイベントを企画していきたいと思います。(秋谷美千子)



雪山集合

(※) うりずんのきょうだい支援を考える会

### 各事業稼働状況

(2024年3月31日現在)

● 日中一時支援事業 ● 現在の登録状況……57名

● 2024年1月～3月のご利用状況 (人)

1月	2月	3月	合計
159	140	166	465

\* いずれも延べご利用人数です

● 居宅介護事業 ● 現在の登録状況……27名

● 移動支援事業 ● 現在の登録状況……17名

● 相談支援事業 ● 現在の登録状況……24名

### 児童発達支援・放課後等デイサービス事業

● 2024年1月～3月のご利用状況 (人)

	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	96	86	99	281
放課後等デイサービス	111	93	121	325

### 見学・ボランティア等ご来所者数

● 2024年1月～3月のご利用状況 (人)

	1月	2月	3月	合計
見学者	8	13	6	27
ボランティア	4	1	0	5
計	12	14	6	32

### ● 現在の登録状況

◆ 児童発達支援……18名

◆ 放課後等デイサービス……30名

\* いずれも延べご利用人数です

※ 詳細につきましては、認定NPO法人うりずんHP「事業所案内 活動報告」をご参照ください。

## うりずんの仲間たち

ご家族に伺いました♪

名前：千葉優介さん

ニックネーム：

ゆーちゃん

年齢：小学部4年

好きなこと：

鉄道（真岡鉄道、LRT）、相撲（霧島、隆の勝）

嫌いなこと：虫、太ったはらぺこあおむし

うりずんってどんなところ？：

ほっとする。スタッフさんのお話が面白くて笑ってしまう。お友達も沢山いて、楽しい。

メッセージ：就学前に毎日うりずんにいましたが、最近、時々うりずんに出退するようになりました。昔からのお友達、スタッフさんに再会でき、新しいお友達、スタッフさんに会えて嬉しいです。これからもよろしくお願いします！



名前：小口智也さん

ニックネーム：

ともちゃん

年齢：26歳

好きなこと：

音楽を聞く事とお風呂です。

嫌いなこと：

顔を触られることです。

うりずんって

どんなところ？：

いつも楽しく、安心して過ごせる場所です。

メッセージ：うりずんのみなさんの温かさにいつも感謝しております。どうぞこれからもよろしくお願ひいたします。



## 蒼き春のエトワール

～紅う光は憧れて～

KOMEY

ずっと憧れていた

見ていることしか出来なかった、君の後ろ姿

同じ道を歩くこと、隣に居ることが  
僕の日常になっていって

奇跡のようなその事実を噛みしめるほどに  
毎日が、夢の中にいるみたいだった。

だけど、知っている。夢の時間は終わるものだと。

もうその日がやってくるのだと。

時計の針が旅立ちへと近づいてく

針が進む、そのたびに

「魔法の刻は終わりを迎える」

その実感が大きくなっていく。

君のいない日常が来る。

それはわかっていたことだけれど。

春の日差しに照らされる君の背中とは

とてもきれいで、色んな気持ちが溢れてくる。

頬を伝う熱い想いは

君に届けたい言葉達の結晶体だ

それは永遠と呼べるほどに

鮮やかな輝きを放ち続ける

春の夜に浮かぶスピカのように



# うりずん応援団コーナー

## NPO法人うりずん寄付者名簿 (敬称略)

令和6年1月1日～3月31日(到着分)

ご寄付 2,851,621円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

### ■一般寄付者 119名 (うち匿名22名)

<b>青森県</b>	宇都宮市 鈴木 勇二	宇都宮市 武藤 高茂	那須塩原市 日下部 慎	和光市 坂内 博子	川崎市 磯村 宜和
青森市 大瀧 潮	関端 榮子	村田 光敏	高根澤 孝	<b>東京都</b>	藤沢市 平元 詢二
<b>岩手県</b>	曾根真智子	柳澤 邦夫	下野市 小島 好子	港区 酒井三貴子	横須賀市 (有)ヒロ薬局
一戸町 田中 恭子	高野 博子	鹿沼市 下妻 和彦	高木 悠次	新宿区 佐藤 好美	<b>滋賀県</b>
一関市 谷藤 正人	武井 大	日光市 中田 誠	小山市 北尾 修	中野区 唐澤 剛	米原市 小椋 一司
<b>栃木県</b>	田村 雅子	日光市 大嶋 洋子	坂口 敏夫	中嶋 弓子	<b>大阪府</b>
宇都宮市 市瀬 俊子	塚田 貴子	大嶋 洋史	佐野市 坂本 寿子	中村 洋一	池田市 高橋 昭夫
宇都宮中央ライオンズクラブ	塚田 浩史	加藤たけよ	ナディーム ムハンマド	練馬区 遠藤 頼子	吹田市 小池 由久
鶴山 明	咽喉科医院	医療法人社団志幸会	高根沢町 佐藤 正行	加藤 総夫	佐藤 真
大柿 聡久	徳原 龍樹	木村内科医院	壬生町	櫻林郁之介	<b>京都府</b>
大谷 孝吉	床井 忠夫	塩澤 延江	独協医科大学独医祭	山崎 世和	京都市
大房 寿男	栃木県民共済生活協同組合	鈴木 法子	実行委員会	大田区 荒木 光子	音羽軒の皆さま
岡部 昇子	富永祐里子	高橋 良子	松原 優里	町田市 横手 貴子	<b>兵庫県</b>
奥野 礼子	橋本 紀子	田中 敏子	<b>群馬県</b>	<b>神奈川県</b>	西宮市 熊野 公子
金子 徳代	半田江津子	手塚由里子	高崎市 鈴木 隆	横浜市 小坂 仁	<b>福岡県</b>
駒場 哲子	半田 孝	橋本 誠	<b>埼玉県</b>	志保田俊男	福岡市 田崎 辰夫
柴崎 淳子	日野 公子	日原 拓美	川口市 齋藤 喜作	竹尾ゆかり・浩史	<b>その他</b>
菅原 拓朗	松林 和宏	山口健太郎	川越市 森脇 浩一	永田 幸雄	うりずん応援団募金箱
助名 善夫	宮村 尚	大田原市 渡邊 学	本庄市 坂本喜久枝	成田すみれ	

### ■個人賛助会員 60名入会 (匿名9名)

<b>栃木県</b>	宇都宮市 助名 善夫	宇都宮市 宮村 尚	高根沢町 菅野 安子	練馬区 遠藤 頼子	藤沢市 平元 詢二
宇都宮市 池本喜代正	鈴木 勇二	山田みやこと市民の会	佐藤 正行	中原 陽	川崎市 小竿 順子
大柿 聡久	須藤 勝則	鹿沼市 高村 博	<b>埼玉県</b>	山崎 世和	<b>滋賀県</b>
岡部 昇子	田中 秀子	日光市 大嶋 洋史	和光市 坂内 博子	墨田区 林 亜由美	大津市 鈴木 順子
櫻井 則子	田村 雅子	片岡 真理	<b>千葉県</b>	葛飾区 石井 昭代	乗光 秀明
倭文 一彦	塚田 貴子	鈴木 法子	市川市 金屋 友子	立川市 田添 敦孝	<b>石川県</b>
柴田 敦子	土沢 薫	手塚由里子	<b>東京都</b>	<b>神奈川県</b>	金沢市 上瀧 大
柴田 和代	床井 忠夫	日原 拓美	港区 酒井三貴子	横浜市 小坂 仁	<b>長崎県</b>
助名 弘美	富永祐里子	佐野市 坂本 寿子	永澤 直子	志保田俊男	西彼杵郡 下村千枝子
助名真由香	中村 好一	ナディーム ムハンマド	中野区 唐澤 剛	成田すみれ	

### ■団体賛助会員 6団体 (匿名1団体)

<b>栃木県</b>	宇都宮市 柴田 敦子	宇都宮市 和食 うおえい
宇都宮市 宇都宮動物園	(株)睦工業	真岡市 (医)創生会 真岡西部クリニック



## ご寄贈ありがとうございました。

多くの方々から寄贈品をいただきました。誌面の都合により、すべての寄贈品を掲載できず、申し訳ございません。心より御礼申し上げます。



頌栄保育園様



上野様



益子様



宇都宮 90 ローターークラブ様よりプロジェクター1台・蓄電池2台をご寄贈いただきました。

## うりずん応援団に参加しませんか？

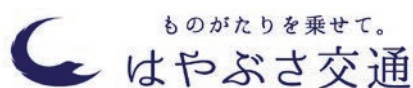
「うりずん応援団」はうりずんに関わる全ての方々（利用者様、ご家族様、ボランティアさん、関係機関の皆様、ご支援者や協賛企業の皆様、そしてスタッフ等）が会員となり、共にうりずんを応援していこうという活動です。

### ●うりずん応援団 協賛企業会員

#### Special会員



#### Regular会員



あなたの誇りを建てる。Panasonic Homes  
パナソニック ホームズ北関東株式会社



うりずんは、活動の趣旨に賛同し、寄付や会費、ボランティア等でご支援くださる個人や団体、企業を「うりずん応援団」と名づけ、支援者の輪を広げています。一人でも多くの子どもと家族を笑顔にするためにぜひ、「うりずん応援団」にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。  
※この度、協賛企業会員に新たに Friend（1口 5万円）が加わりました。

### ○うりずん応援団

継続的にご支援をいただける方は、年会費（定額）による支援をお願いします。

#### 《賛助会員》

個人 3,000円 団体 10,000円（寄付扱いとなります）

#### 《協賛企業会員》

Friend	1口	5万円
Regular	1口	10万円
Special	1口	20万円
Premium	1口	50万円

#### 《一般寄付》（金額は任意で設定いただけます）

#### 【各種振込先のご案内】

振込みは、ゆうちょ銀行の専用口座へお願いします。（誠に恐縮ですが、手数料は別途ご負担をお願いします）

#### ＜ゆうちょ銀行からのお振込み＞

口座番号：00110-4-441471  
口座名：特定非営利活動法人 うりずん

#### ＜ゆうちょ銀行以外からのお振込み＞

〇ー九店（ゼロイチキューウ店）  
当座：0441471

#### 【オンライン寄付】

うりずんのホームページ  
(<http://www.npourizn.org/>) から  
ご寄付と賛助会員のオンライン決済ができます。

#### 【寄付金額の最大 50%が税金から戻ってきます！】

「うりずん」は「認定NPO法人」のため、うりずんへの寄付には確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。





# うりずんからのお知らせ

## ①うりぼう号がやってきました!

うりずんでは長年スロープ車購入のための寄付を募ってきました。うりずんのファンドレイジング(寄付による支援者募集の取り組み)は2012年のNPO法人化を前にしたうりずんの黎明期に、現うりずん理事の柚崎通介さんと有志の皆さんによるうりずん支援の会「うりぼう」の取り組みが始まりました。※「うりぼう」とはインシシの赤ちゃんのことです。

この度、この寄付金で念願のスロープ車(シエンタ)を購入させていただきました。名前はもちろん「うりぼう号」。ナンバーはNPO法人う

▼うりぼう号

かわいいイラスト



りずんの創立日2012年3月9日にちなんで「12-39」(ひとにサンキュー)です。可愛いイラストはうりぼうでイラストを担当された柚崎友里さんの作品です。

ご支援・協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。  
(事務局長 我妻英司)

## ②ホームページが新しくなりました!

従来の良さを残しつつも、「沖縄の若夏のような、さわやかな南風に包まれてゆったりした時間を過ごして欲しい」という「うりずん」の言葉に込めた想いをテーマに表現しています。子どもたちの素敵な写真が目を惹くサイトに生まれ変わりました。ぜひ覗いてみてください!



ホームページ

## ③公式 Instagram アカウントを開設しました!

「うりずんの Instagram をやりたい!」とスタッフからの声を受け、開設が実現しました。うりずん通信だけでは掲載しきれない、うりずんで過ごす子どもたちの日々の様子などを随時アップしていきます。ぜひ、アカウントのフォローをお待ちしています!



Instagram



森川結衣

♥1月に入職しました介護福祉士の森川結衣です。

楽しい事が大好きなのでご利用者様が笑顔で楽しく過ごせるよう日々一緒に過ごせたらと思います。まだまだご迷惑をおかけする事もありますがよろしくお願ひ致します。

【介護福祉士】



小林明日香

♥4月に入職しました保育士の小林明日香です。

いつも楽しい雰囲気のうりずんで一緒にできることに嬉しく思います。みなさんと笑顔で楽しく過ごせるよう精進していきますので、よろしくお願ひいたします!

【保育士】

## ●●新しいスタッフの紹介●●



菅谷かおり

♥初めまして、菅谷かおりと申します。

重度訪問介護を開始した昨年11月に入職し、4月から常勤スタッフとして勤務することになりました。利用者様の気持ちに寄り添い、少しでもお役に立てるよう頑張ります。

【介護職】

## 編集後記

桜が咲き少しずつ暖かくなりました。今回初めて通信に関わらせていただきましたが、本当にたくさんの方々に助けられているんだなぁと感じました。いつもうりずんをご支援くださりありがとうございます。寒暖差の激しい今日のごろみなさまもどうかご自愛ください  
担当 田中靖子



うりずん通信・テレマカー

第49号 2024年4月25日発行

<https://www.npourizn.org/>



《編集・発行》 認定特定非営利活動法人 うりずん  
〒321-2116 栃木県宇都宮市徳次郎町365-1  
TEL: 028-601-7733(代) FAX: 028-665-7744(代)  
Mail: urizn@hibari-clinic.com  
《デザイン・印刷》 デザインスタジオ アクセス